

2026 年度

人 文 社 会 学 部

健康メディカル学部

(医療科学科 スポーツサイエンスコース)

健康医療スポーツ学部

(医療スポーツ学科 トレーナー・スポーツコース、アスリートコース、動物医療コース)

基 礎 能 力 検 査

情 報

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をよく読んでください。

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
2. 解答用紙は、マーク用解答用紙と記述用解答用紙があります。
マーク式の問題はマーク用解答用紙に以下の例のようにマークしてください。
(例)

解答										
ア	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
イ	①	②	③	●	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

※同じ解答欄に複数のマークをすることもあります

記述式の問題は記述用解答用紙に記入してください。

3. 机の上には、受験票・鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り（電動式は除く）・時計（時計機能だけのもの）・眼鏡以外のものは置かないでください。
 4. 問題・解答用紙の両方に必ず受験番号・氏名を記入してください。また、受験番号をマークしてください。提出の前には記入漏れがないか再度確認してください。
 5. 問題は3問全問解答必須です。
 6. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明・ページの落丁・乱丁に気付いた場合、また問題の内容について質問などのある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
 7. 問題冊子の余白等は適宜利用して構いません。
 8. 配布された問題・解答用紙は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。
- ◇携帯電話は、電源を切った上で鞆の中にしまってください。

志望学科・コースの左枠に○をつけてください（第一志望のみ）

志望学科・コース	人文社会学部				健康メディカル学部				
	小学校・特別支援コース		経 営 コ ー ス		スポーツサイエンスコース				
	保育・幼稚園コース		トレーナー・スポーツ経営コース		健康医療スポーツ学部				
	福 祉 コ ー ス		観 光 経 営 学 科		トレーナー・スポーツコース				
	メディア文化コース				アスリートコース				
	グローバルコミュニケーションコース				動物医療コース				
受験番号					氏名				

【問題 1】 次の問い〔1〕～〔12〕に答えなさい。

〔1〕 次の記述の空欄 に入れるのに最も適切なものを解答群から一つ選びなさい。

人の知的活動によって創造されたものを知的財産といい、それを認める権利を知的財産権という。
その権利は主に芸術などの創作活動により表現されたものを保護する と産業や工業製品の
製造などに対し利用や所有を保護するための産業財産権に分けられる。

【 の解答群】

- ① 意匠権 ② 特許権 ③ 実用新案権 ④ 商標権 ⑤ 著作権

〔2〕 情報漏洩の防止に効果がない方策はどれか。最も適切なものを解答群から一つ選びなさい。

【 の解答群】

- ① ファイルを暗号化する。
② ウィルス対策ソフトを導入する。
③ パスワードを定期的に変更する。
④ ファイルを定期的にバックアップする。
⑤ 外部ネットワークにはファイアウォールを介して接続する。

〔3〕 フィッシング詐欺について誤っているものを解答群から一つ選びなさい。

【 の解答群】

- ① パスワードの変更を求めるメールには注意すべきである。
② 銀行やクレジットカード会社と外見上全く変わらない擬装した Web ページを作成することができる。
③ Web ページは擬装できても Web ブラウザに表示される URL (アドレス) は擬装することができない。
④ Web ブラウザには、フィッシング対策機能が搭載されている。
⑤ クレジットカード番号などの情報を不正に入手する詐欺には注意すべきである。

〔4〕 次の 2 進法で表した数同士の加算した結果を 10 進法で表すと ₍₁₀₎ である。空欄

にあてはまる数字を一つマークしなさい。

$$0010_{(2)} + 0100_{(2)}$$

〔5〕 次のデータ量の大小関係のうち正しいものはどれか。適切なものを解答群から一つ選びなさい。

【の解答群】

- ① 1M バイト < 1T バイト < 1G バイト < 1k バイト
- ② 1M バイト < 1k バイト < 1G バイト < 1T バイト
- ③ 1M バイト < 1G バイト < 1k バイト < 1T バイト
- ④ 1k バイト < 1M バイト < 1G バイト < 1T バイト
- ⑤ 1k バイト < 1T バイト < 1G バイト < 1M バイト

〔6〕 図 1-1 の AND 回路, OR 回路, NOT 回路を組み合わせた回路の入力 A, B に対する出力 X を表す真理値表 (表 1-1) の , にあてはまる数字を一つずつマークしなさい。

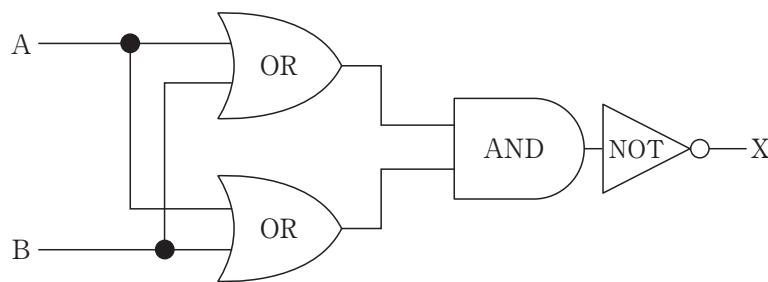


図 1-1 論理回路図

表 1-1 真理値表

入力		出力
A	B	X
0	0	カ
0	1	キ
1	0	0
1	1	0

〔7〕 次のコンピュータの記憶装置についての記述のうち正しいのはどれか。最も適切なものを解答群から一つ選びなさい。

【の解答群】

- ① 中央処理装置は演算装置と ROM とからなる。
- ② 外部記憶装置は CPU で実行される入カデータと出カデータとを一時的に保存する。
- ③ 主記憶装置には一般にアクセスタイムの長いものが適している。
- ④ 補助記憶装置にはハードディスクや SSD が多く用いられる。
- ⑤ 主記憶装置には一般に USB メモリが使用される。

〔8〕 次の記述の空欄「ケ」に入れるのに最も適切なものを解答群から一つ選びなさい。

クロック周波数が4GHzで動作するCPUをもつコンピュータがあり、このCPUは1命令を平均0.5クロックで実行できる。このCPUが1秒間に平均で処理できる命令は「ケ」億回実行できる。

【「ケ」の解答群】

- ① 2 ② 20 ③ 80 ④ 200 ⑤ 800

〔9〕 図1-2で表される集合A, B, Cがある。この図の斜線部分に対応する最も適切な条件はどれか。

解答群から一つ選びなさい。「コ」

尚、A AND BはAとBの論理積、A OR BはAとBの論理和を表し、()がある場合は()内の条件が優先される。

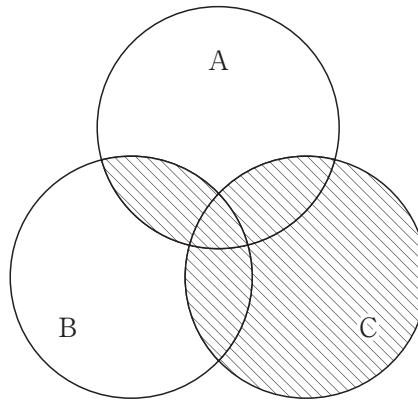


図1-2 3つの集合のベン図

【「コ」の解答群】

- ① A AND (B OR C) ② B AND (A OR C) ③ A OR B AND C
④ A AND B OR C ⑤ C OR (A OR B)

- [10] 次の記述の空欄「サ」にあてはまる数字を一つマークし、空欄「シ」, 「ス」に入れるのに最も適切なものを解答群から一つずつ選びなさい。

画素数が 1920×1200 ピクセルのモノクロ画像を 256 階調で記録した場合、1 ピクセルあたり画像データは「サ」ビットで記録される。カラー画像で表示する場合、「シ」からなる光の三原色で表現され、256 階調のカラー画像とすると、1 ピクセルあたり画像データは「ス」ビットで記録されることになる。ただし、データの圧縮は行わず、画像以外のデータは考えないものとする。

【「シ」の解答群】

- ① 赤, 青, 黄 ② 赤, 橙, 緑 ③ 緑, 青, 黄 ④ 赤, 緑, 青
⑤ 白, 黒, 青 ⑥ 白, 青, 緑

【「ス」の解答群】

- ① 7 ② 8 ③ 9 ④ 10 ⑤ 21 ⑥ 22 ⑦ 23 ⑧ 24

- [11] サンプリング周波数 44.1kHz, 量子化ビット数が 16 ビット, ステレオ 2 チャンネルの形式で 1 秒間のデータを非圧縮により記録するとき、データ量はおよそ何バイトとなるか。適切なものを解答群から一つ選びなさい。「セ」

【「セ」の解答群】

- ① 7056 ② 88200 ③ 141120 ④ 1411200 ⑤ 176400
⑥ 1764000

- [12] 次の記述の空欄「ソ」に入れるのに最も適切なものを解答群から一つ選びなさい。

インターネットを閲覧するには Web ブラウザと呼ばれるソフトウェアを使用し、URL を入力すると目的の Web ページを開くことができる。URL は、通信規約を示すスキーム名、ホスト名、「ソ」で構成されている。

【「ソ」の解答群】

- ① アカウント名 ② Web ③ ドメイン名 ④ プロバイダ
⑤ ハイパーリンク

【問題2】 次の文章を読んで、後の問い〔1〕～〔6〕に答えなさい。

ある生花店では正午以降フラワーアレンジメントを1つ4500円(税込)でお客様の注文依頼を受けてから制作販売しているが、午後7時以降は生花の在庫が少なくなるために1つあたりの値段を1割引として販売する。

生花店スタッフが、ある日の正午から午後10時(閉店)までの売上状況を集計するためのプログラムを試作した。表2-1は正午から閉店までの1時間ごとに集計された販売個数が格納された配列の例を示しており、販売個数はHanbai_Nという配列に格納され添え字0から9は正午から午後10時まで1時間ごとに集計された販売個数に対応させて表2-1の値で初期化されている。

試作したプログラムを実行すると結果は図2-1のように表示され、計算処理された数値は数字として表示されている。このプログラムの処理手順を図2-2に示す。変数*i*は繰り返しを制御するための変数であり、←は右辺の値を左辺に代入する演算子を表し、比較演算子は＝、≠、<、≤、>、≥、四則演算子は*、/、+、－を用いている。変数SumHanbai_Nは販売個数の合計、変数SumUriagedakaは売上高、変数Uriagegakuは1時間あたりの売上額、変数UriagegakuMaxは売上金額の最大値、変数UriagegakuMax_Tは売上金額が最大となる時間をそれぞれ一時的に格納する変数として表している。

表 2-1 販売個数が格納された配列 Hanbai_N の例

添え字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
値	15	8	5	9	18	21	16	23	18	4

- ・累計販売個数は〔137〕個でした。
- ・1時間あたり最も大きく売り上げた時間帯は午後〔5〕時からの1時間で、その時間帯の売上金額は〔94500〕円でした。
- ・1日の売上高は〔596250〕円でした。

図 2-1 表示されるプログラム実行結果の例

- (01) 配列 Hanbai_N を表 2-1 の値で初期化する
- (02) 変数 SumUriagedaka, Uriagegaku, UriagegakuMax, UriagegakuMax_T をそれぞれ 0 で初期化する
- (03) $n \leftarrow$ ア
- (04) SumHanbai_N $\leftarrow$ イ
- (05) i を 0 から n まで 1 ずつ増やしながら,
- (06) SumHanbai_N $\leftarrow$ ウ + Hanbai_N[i]
- (07) もし $i < 7$ ならば
- (08) Uriagegaku $\leftarrow$ エ
- (09) を実行し、そうでなければ
- (10) Uriagegaku $\leftarrow$ オ
- (11) を実行する
- (12) SumUriagedaka $\leftarrow$ カ
- (13) もし Uriagegaku キ UriagegakuMax ならば
- (14) UriagegakuMax $\leftarrow$ ク
- (15) UriagegakuMax_T $\leftarrow$ ケ
- (16) を実行する
- (17) を繰り返す
- (18) 表示する (“・累計販売個数は[“SumHanbai_N”]個でした。”)
- (19) 表示する (“・1 時間あたり最も大きく売り上げた時間帯は午後[“UriagegakuMax_T”]時から
の 1 時間で, ”)
- (20) 表示する (“ その時間帯の売上金額は[“UriagegakuMax”]円でした。”)
- (21) 表示する (“・1 日の売上高は[“SumUriagedaka”]円でした。”)

図 2-2 実行結果を表示するプログラムの処理手順

〔1〕 図 2-2 の空欄 ア ～ イ に代入される値で最も適切な数字を一つずつマークしなさい。

〔2〕 (06) 行目の変数 SumHanbai_N には販売個数の合計が代入される。図 2-2 の空欄 ウ にあてはまる最も適切なものを、解答群から一つ選びなさい。

【ウ の解答群】

- ① Uriagegaku ② SumUriagedaka ③ UriagegakuMax ④ Hanbai_N[i]
- ⑤ SumHanbai_N

〔3〕 (08)行目と(10)行目の変数 Uriagegaku には1時間あたりの売上額が計算されて代入される。図 2-2 の空欄 エ , オ の式にあてはまる最も適切なものを, 解答群から一つずつ選びなさい。

【 エ , オ の解答群】

- ① $\text{Uriagegaku} * 4500$ ② $\text{Uriagegaku} * (4500 * 0.9)$
- ③ $\text{Hanbai_N}[i] * 4500$ ④ $\text{Hanbai_N}[i] * (4500 * 0.9)$
- ⑤ $\text{SumHanbai_N} * 4500$ ⑥ $\text{SumHanbai_N} * (4500 * 0.9)$

〔4〕 (12)行目の変数 SumUriagedaka には売上高が計算されて代入される。図 2-2 の空欄 カ の式にあてはまる最も適切なものを, 解答群から一つ選びなさい。

【 カ の解答群】

- ① $\text{SumUriagedaka} + \text{Uriagegaku}$ ② $\text{Uriagegaku} + \text{Hanbai_N}[i]$
- ③ $\text{Uriagegaku} + \text{SumHanbai_N}$ ④ $\text{SumUriagedaka} + \text{Hanbai_N}[i]$
- ⑤ Uriagegaku ⑥ SumUriagedaka

〔5〕 図 2-2 の空欄 キ にあてはまる比較演算子で適切なものを, 解答群から一つ選びなさい。

【 キ の解答群】

- ① $=$ ② $\neq$ ③ $<$ ④ $\leq$ ⑤ $>$ ⑥ $\geq$

〔6〕 (14) 行目の変数 UriagegakuMax には売上金額の最大値が代入され, (15) 行目の変数 UriagegakuMax_T には売上金額が最大となる時間が代入される。図 2-2 の空欄 ク , ケ の式にあてはまる最も適切なものを解答群から一つずつ選びなさい。

【 ク , ケ の解答群】

- ① Uriagegaku ② SumUriagedaka ③ UriagegakuMax
- ④ UriagegakuMax_T ⑤ $\text{Hanbai_N}[i]$ ⑥ SumHanbai_N
- ⑦ i ⑧ $i-1$ ⑨ $i+1$

【問題3】 表計算に関する次の文章を読んで、後の問い〔1〕～〔6〕に答えなさい。

使用する表計算はソフトウェアでは、四則演算＋、－、＊、／のほか、^（べき乗）および表3-1に示す関数を使用できる。また、セルに入力されている式をほかのセルに複写した場合、複写先のセルでは、式で参照しているセル番地が相対的に、自動的に変更される。一方、式を複写しても、参照しているセル番地が変わらないようにするためには、記号\$を用いて\$A\$1、\$A1、A\$1などと表す。

表 3-1 関数などの使用法

比較演算記号	比較演算記号として、＝、≠、＜、＜＝、＞、＞＝を用いる。
セル範囲	開始のセル番地～終了のセル番地 という形で指定する。
SUM（セル範囲）	セル範囲に含まれる数値の合計を返す。
AVERAGE（セル範囲）	セル範囲に含まれる数値の平均値を返す。
COUNT（セル範囲）	セル範囲に含まれるセルのうち、数値のセルの個数を返す。
IF（条件式、式1、式2）	条件式の値が真の場合は式1の値を返し、偽の場合は式2の値を返す。
ABS（セル番地）	セル番地の絶対値を返す。
SQRT（セル番地）	セル番地の平方根を返す。

注 合計、平均の各関数は、引数で指定された範囲のセルのうち、値として数値以外を格納しているものは無視する。

Mさんは2004年と2024年にE地点で観測された1年間の月別平均気温について調査されたデータから表3-2を作成して、各年に観測された月別平均気温の散らばりの度合いを調べようとしている。

表3-2のセルB3～B14までには2004年に観測された月別平均気温を入力し、セルC3～C14までには2024年に観測された月別平均気温をそれぞれ入力した。尚、小数点以下の桁数は1桁として表示している。

表 3-2 2004 年と 2024 年に E 地点で観測された月別平均気温

	A	B	C	D	E	F
1						
2	月	2004 年 平均気温 [℃]	2024 年 平均気温 [℃]	2004年 (平均気温[℃]－平均値) ²	2024年 (平均気温[℃]－平均値) ²	
3	1	6.0	7.5	111.1	102.5	
4	2	7.9	8.0	74.7	92.6	
5	3	9.2	9.6	53.9	64.4	
6	4	15.1	16.7	2.1	0.9	
7	5	18.4	19.6	3.5	3.9	
8	6	22.4	22.9	34.3	27.8	
9	7	27.0	28.0	109.4	107.6	
10	8	26.4	29.0	97.2	129.4	
11	9	24.3	26.5	60.2	78.8	
12	10	17.0	20.8	0.2	10.1	
13	11	15.1	14.2	2.1	11.7	
14	12	9.7	8.7	46.8	79.7	
15	平均値	16.5	17.6			
16	分散	49.6	59.1			
17	分散の平方根	7.0	7.7			
18						

- 〔1〕 セル B15 にセル B3 ～ B14 までの範囲の平均値を求めるために下の式を入力して、その式をセル C15 に複写した。

セル B15 に入力した式： ア (イ) / ウ (イ)

空欄 ア ～ ウ にあてはまる最も適切なものを、下のそれぞれの解答群から一つずつ選びなさい。

【 ア と ウ の解答群】

- ① SUM ② AVERAGE ③ COUNT ④ IF ⑤ ABS
⑥ SQRT

【 イ の解答群】

- ① A3 ～ E14 ② B3 ～ C14 ③ D3 ～ C14 ④ D3 ～ E14
⑤ B3 ～ B14 ⑥ C3 ～ C14 ⑦ D3 ～ D14 ⑧ E3 ～ E14
⑨ B15 ～ C15 ⑩ B16 ～ C16

- 〔2〕 セル D3 に式：(B3-\$B\$15)^2 を入力してセル D4 ～ D14 に複写し、セル E3 には式：(C3-\$C\$15)^2 を入力してセル E4 ～ E14 に複写した。

2004 年と 2024 年に観測された月別平均気温の分散を求めるために下の式をセル B16 に入力して、その式をセル C16 にも複写した。

セル B16 に入力した式： () / ()

空欄 ～ にあてはまる最も適切なものを、下のそれぞれの解答群から一つずつ選びなさい。

【 と の解答群】

- ① SUM ② AVERAGE ③ COUNT ④ IF ⑤ ABS
⑥ SQRT

【 の解答群】

- ① A4 ～ E14 ② B4 ～ C14 ③ D4 ～ C14 ④ D4 ～ D14
⑤ B3 ～ B14 ⑥ C3 ～ C14 ⑦ D3 ～ D14 ⑧ E3 ～ E14
⑨ B15 ～ C15 ⑩ B16 ～ C16

- 〔3〕 セル B17 にセル B16 の平方根を求めるため下の式を入力した。

セル B17 に入力した式： (B16)

空欄 にあてはまる最も適切なものを、下の解答群から一つ選びなさい。

【 の解答群】

- ① AVERAGE ② COUNT ③ ABS ④ SQRT ⑤ SUM
⑥ B3 ～ B14

セル B17 に入力した式をセル C17 にも複写した。このときセル C17 に複写された式を記述用解答用紙①に書きなさい。

セル C17 に複写された式：

- 〔4〕 セル B17 で算出された分散の非負の平方根のことを何というか。解答を記述用解答用紙②に書きなさい。

〔5〕 2004 年と 2024 年の月別平均気温の分布を確認するため、箱ひげ図を図 3-1 のとおり作成した。

次の記述の空欄 ク ～ サ に入れるのに最も適切なものを解答群から一つずつ選びなさい。

図 3-1 の箱ひげ図は、データの分布を箱とひげで表した図で、箱の下端の値は ク ，箱の上端の値は ケ を表す。また、箱の中の横断線は コ を、「×」印は サ を示す。

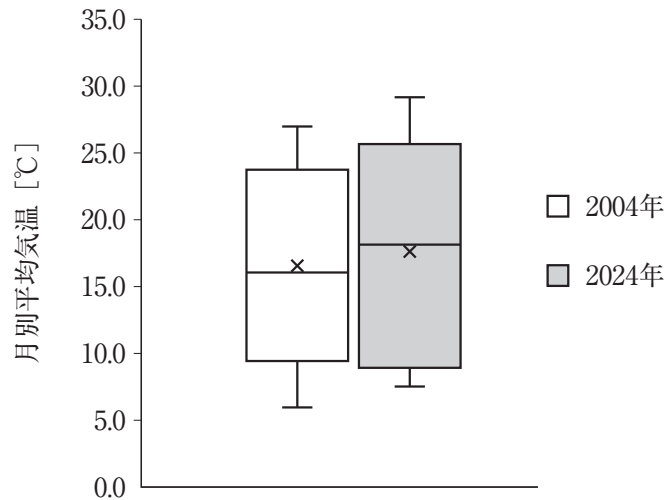


図 3-1 箱ひげ図

【 ク ～ サ の解答群】

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| ① 第 1 四分位数 | ② 第 3 四分位数 | ③ 第 4 四分位数 | ④ 第 5 四分位数 |
| ⑤ 中央値 | ⑥ 最大値 | ⑦ 最小値 | ⑧ 平均値 |
| ⑨ 外れ値 | | | |

〔6〕 以上の結果，2004 年と 2024 年に E 地点で観測された 1 年間の月別平均気温について，散らばりの度合いが大きかったのはどちらの年であったか。解答を記述用解答用紙③に書きなさい。